

すこやか VOL.69

医療法人 藤田病院
岡山市東区西大寺上三丁目8-63
TEL (086) 943-6555 (代)
平成30年1月発行



健康寿命
藤田病院 院長 渡邊 剛正



白鳥と朝日の木漏れ日(北海道弟子屈町)

元号「平成」も、はや30年を数えました。新しい年を迎え本年も何卒よろしくお願い申し上げます。昨秋岡本先生の後任として院長を拝命いたしました。1994年に岡山大学を卒業し、臨床は25年目となりましたがまだまだ日々修行だと心得ております。引き続きご指導のほどお願い致します。

昨年末、厚生労働省により都道府県別の平均寿命が発表されました。実に岡山県は女性が全国第2位であり第1位の長野県とわずか1日差の輝かしい成績でした。日本が世界最長寿命国であることを考えますと、岡山県の女性は地球上の人類80億人の中で稀有な長寿グループの一団だと言えるでしょう。ちなみに男性は第13位で第1位の滋賀県とは約9カ月差でした。比較的温暖で自然災害も少なく医療機関の発達した岡山県が長寿県であることは想像に難くありません。一方で最近「健康寿命」という考え方があります。健康寿命とは「日常生活に制限のない期間」と定義され、つまり健康で自立した生活を送ることのできる年齢と言い換えることができます。誰も意図してそうなるわけではありませんが、何らかの心身の障害を負い、寝込んでしまつて誰かの介護を必要とするような状況を作ることができるだけ減らそうという目的から取り入れられた考え方です。この「健康寿命」という指標で我が岡山県を見てみると、平成22年の統計では男性は第41位、女性は第29位と一気にトップ集団から陥落し、他の都道府県の後塵を

拝する状況になっています。こうした状況は岡山県の介護体制・施設が充実していると読み取ることができ、一方で、人生の最期を寝込んで過ごす時間が長いとも解釈できます。せっかく長寿県としての栄誉を受けていながら、その実態が「寝たきり」状態では寂しい気持ちになります。

先日当院で手術を受け、長期間の入院を余儀なくされた患者さんからお手紙を頂きました。退院後は地元のかかりつけの先生のもとに帰られたので、しばらくお会いしていませんでした。元々、足が不自由であることに加えて長時間の手術を受けたために、術後は寝たきり生活になってしまいました。高齢の患者さんが手術をきっかけに要介護状態になってしまうことは珍しいことではありません。それでも尚、その患者さんはリハビリに邁進されました。何とか退院にこぎ着けたものの自宅で寝込んでいるのではないだろうかと案じていたところでした。ところが手紙には「現在では立派に歩けるようになりました」との一文。住み慣れた我が家で「どんなもんだ！」と笑っているおじいさんの姿が目につくほど熱いものがこみ上げてきました。病に倒れても尚、はい上がって元の生活を取り戻した患者さんに我々のほうが元気をもらいました。

医療が何を指すべきなのか、それはいつも患者さんが教えてくれます。今年も皆様と大いに語りあいながら地域医療に邁進したいと思えます。



老健はるか 「家族で暮らす」を支えます

2018年3月オープン!

自宅へ戻るための医療・リハビリ

医療法人社団 藤田病院が3月1日に開設する、介護老人保健施設「はるか」を紹介いたします。

介護老人保健施設とは要介護高齢者（要介護1以上の方）の在宅復帰を目指すため、医師による医学的管理の下、看護・介護を提供する施設です。さらに理学療法士や作業療法士などによるリハビリテーションと栄養管理・食事・入浴などのサービスを提供していく場所です。



現在の介護老人保健施設では「従来型老健」と「在宅強化型老健」にわかれ、はるかでは「在宅強化型老健」としての目標を定め、自宅復帰のサポートに向けて準備を行っています。通所リハビリテーション（デイケア）では、1日（6時間程度）と半日（3時間程度）の2種類の利用受け入れを予定しており、ご利用される方の目的に合ったリハビリを提供します。

施設開設後、約半年をめどに定期巡回随時対応型訪問介護看護を新設する計画もあり、施設からご自宅へ戻られた方の継続的な医療・介護・リハビリのサポートをさせていただきます。

ご家族様も含めた心のサポート

では、皆さんにとって自宅復帰の不安は何でしょうか。「病氣・怪我をしてもリハビリのできる施設があるから安心して生活できる。家に帰っても家族だけでは介護は難しい」そう思われますよね。ただその不安の裏には誰もが「住み慣れた地域の中で家族に囲まれた生活を送りたい」、その思いもあるはずですよ。帰りたいと思える家がある、その幸せを

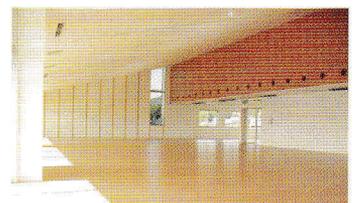
いつまでも持ち続けていてもらうために、私たちにお手伝いをさせてください。

はるかが目指す支援・介護とは、ご本人・ご家族様の小さな心の不安解消から、身体機能の回復までを入居される前から自宅に戻られるまで、また自宅へ戻られたその後も含めサポートする事と考えています。

退去後も心強い訪問介護・看護

藤田病院グループでは入院・外来治療を行う藤田病院、自宅復帰をサポートする老健はるか、介護度が高く自立した生活が困難な方を受け入れる特養せとうち、特養せとうちの郷、自宅での生活を支援する居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護、訪問介護看護などの各種部門がございます。患者様、入居者様の生活を急性期医療から在宅介護まで幅広く支える体制を整えておりますので、気軽にご相談ください。

最後に、施設のイメージキャラクターが決定しました。名前は「はるかくん」。ふくろう（福老）と四つ葉のクローバーを重ね合わせて『入居者様・お客様にたくさんの幸せを届けられる施設を目指す』という思いを込めています。



機能訓練室

